1 坊っちゃん

●時間20分

名前　組　番

得点　/100

観点別集計欄　読む /90　書く /10

読む 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「坊っちゃん」夏目漱石

おいはなんと思って清の自慢を聞いていたかわからぬ。ただ清は昔ふうの女だから、自分と俺の関係を封建時代の主従のように考えていた。❶自分の主人ならおいのためにも主人に相違ないと合点したものらしい。おいこそいいつらの皮だ。

いよいよ約束が決まって、もうたつという三日前に清を訪ねたら、北向きの三畳に、風邪をひいて寝ていた。俺の来たのを見て起き直るが早いか、坊っちゃんいつうちをおもちなさいますときいた。卒業さえすれば金が自然とポッケットの中に湧いてくると思っている。そんなに偉い人をつらまえて、まだ A と呼ぶのはいよいよばかげている。俺は単簡に当分 B はもたない。田舎へ行くんだと言ったら、非常に失望した様子で、ごま塩のびんの乱れをしきりになでた。あまり気の毒だから、「行くことは行くが、じき帰る。来年の夏休みにはきっと帰る。」と慰めてやった。それでも妙な顔をしているから、「何か土産に買ってきてやろう、何が欲しい。」ときいてみたら、「越後のささあめが食べたい。」と言った。越後のささあめなんて聞いたこともない。だいいち方角が違う。「俺の行く田舎には、ささあめはなさそうだ。」と言って聞かしたら、「そんなら、どっちの見当です。」ときき返した。「西の方だよ。」と言うと、「箱根の先ですか、手前ですか。」と問う。ずいぶんもてあました。

出立の日には朝から来て、いろいろ世話をやいた。来る途中小間物屋で買ってきた歯みがきとようじと手拭いを、ズックのかばんに入れてくれた。そんな物はいらないと言っても、なかなか承知しない。車を並べて停車場へ着いて、プラットフォームの上へ出た時、車へ乗り込んだ俺の顔をじっと見て、「もうお別れになるかもしれません。ずいぶんごきげんよう。」と、小さな声で言った。目に涙がいっぱいたまっている。俺は泣かなかった。しかし、もう少しで泣くところであった。汽車がよっぽど動きだしてから、❷もうだいじょうぶだろうと思って、窓から首を出して、振り向いたら、やっぱり立っていた。なんだか大変小さく見えた。

読む 【10点×9】 /90

❶ ❶「自分の主人」とは誰のことか。文章中から抜き出しなさい。

❷ □ A・Bにあてはまる言葉をそれぞれ文章中から抜き出しなさい。

A	
B	

❸ ❷「もうだいじょうぶだろう」とはどのようなことか。次の文の空らんにあてはまる言葉をそれぞれ文章中から抜き出しなさい。

・ 1 が停車場から遠ざかったので、 2 の姿を見ても 3 ことはないだろうということ。

1	
2	
3	

❹ 年老いた清が、「俺」の行く末を見届けられそうにないと寂しく思っていることがわかる言葉を、文章中から十字で抜き出しなさい。

❺ 文章中には、「俺」が清の言動にしつこさを感じていることが端的にわかる一文がある。その一文の終わりの五字を抜き出しなさい。

❻ 「俺」にとっても、清との別れがつらいことがわかる一文を探し、初めの五字を抜き出しなさい。

書く **読後の感想を述べる問題** 【10点】 書く /10

❼ 文章に登場する、主人公「俺」の清に対する態度について、自分が思ったことを五十字以内で書きなさい。好意的な感想、批判的な感想のどちらでもよい。

※字数の指示がある解答は、句読点や符号も一字として数えること。

SAMPLE

1 坊っちゃん

●時間20分

名前　組　番

得点　/100

読む 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「坊っちゃん」夏目漱石

おいはなんと思って清の自慢を聞いていたかわからぬ。ただ清は昔ふうの女だから、自分と俺の関係を封建時代の主従のように考えていた。❶自分の主人ならおいのためにも主人に相違ないと合点したものらしい。おいこそいいつらの皮だ。

いよいよ約束が決まって、もうたつという三日前に清を訪ねたら、北向きの三畳に、風邪をひいて寝ていた。俺の来たのを見て起き直るが早いか、坊っちゃんいつうちをおもちなさいますときいた。卒業さえすれば金が自然とポケットの中に湧いてくると思っている。そんなに偉い人をつらまえて、まだ坊っちゃんと呼ぶのはいよいよばかげている。俺は単簡に当分A　Bはもたない。田舎へ行くんだと言ったら、非常に失望した様子で、ごま塩のびんの乱れをしきりになでた。あまり気の毒だから、「行くことは行くが、じき帰る。来年の夏休みにはきっと帰る。」と慰めてやった。それでも妙な顔をしているから、「何か土産に買ってきてやろう、何が欲しい。」ときいてみたら、「越後のささあめが食べたい。」と言った。越後のささあめなんて聞いたこともない。だいいち方角が違う。「俺の行く田舎には、ささあめはなさそうだ。」と言って聞かしたら、「そんならどっちの見当です。」ときき返した。「西の方だよ。」と言うと、「箱根の先ですか、手前ですか。」と問う。ずいぶんもてあました。＝しつこく感じている

出立の日には朝から来て、いろいろ世話をやいた。来る途中小間物屋で買ってきた歯みがきとようじと手拭いを、ズックのかばんに入れてくれた。そんな物はいらないと言っても、なかなか承知しない。車を並べて停車場へ着いて、プラットフォームの上へ出た時、車へ乗り込んだ俺の顔をじっと見て、「もうお別れになるかもしれません。ずいぶんごきげんよう」と、小さな声で言った。目に涙がいっぱいたまっている。俺は泣かなかった。しかし、もう少しで泣くところであった。汽車がよっぽど動きだしてから、もうだいじょうぶだろうと思って、窓から首を出して、振り向いたら、やっぱり立っていた。なんだか大変小さく見えた。＝清が立っている

1 ❶「自分の主人」とは誰のことか。文章中から抜き出しなさい。

坊っちゃん(俺)

2 A・Bにあてはまる言葉をそれぞれ文章中から抜き出しなさい。

A	坊っちゃん
B	うち

3 ❷「もうだいじょうぶだろう」とはどのようなことか。次の文の空らんにあてはまる言葉をそれぞれ文章中から抜き出しなさい。

・1が停車場から遠ざかったので、2の姿を見ても3ことはないだろうということ。

1	汽車
2	清
3	泣く

4 年老いた清が、「俺」の行く末を見届けられそうにないと寂しく思っていることがわかる言葉を、文章中から十字で抜き出しなさい。

ずいぶんごきげんよう

5 文章中には、「俺」が清の言動にしつこさを感じていることが端的にわかる一文がある。その一文の終わりの五字を抜き出しなさい。

あまりした。

6 「俺」にとっても、清との別れがつらいことがわかる一文を探し、初めの五字を抜き出しなさい。

しかし、も

7 **書く** 読後の感想を述べる問題 文章に登場する、主人公「俺」の清に対する態度について、自分が思ったことを五十字以内で書きなさい。好意的な感想、批判的な感想のどちらでもよい。

例

「	俺	」	が		清	の	愛	情	を										
め	ん	ど	う	に	思	い	な	が	ら										
も	、	清	を	大	事	に	し	て	い										
る	の	が	、	や	ん	ち	ゃ	な	青										
年	ら	し	く	お	も	し	ろ	い	。										

読む /90　書く /10　【10点×9】

解き方のガイド

1 ❶ ここでの自分とは、清のこと。

2 清は「俺」のことを偉いと思っているのに、敬称で呼ばず「A」と愛称で呼んでいるのが矛盾していてばかばかしいと、「俺」は皮肉めいた言い方をしている。Bは「いつうちをおもちなさいます」という清の問いへの「俺」の返答。

3 傍線部の直前の「もう少しで泣くところであった」という言葉に着目する。「俺」は清をめんどうに感じながらも、嫌っていることは決してなく、寂しい様子の清を見て泣いてしまいそうになる。

4 「俺」と生きて会うことは二度とないかもしれないという思いが「お別れになるかもしれません」という言葉から読み取れる。そして「ずいぶん(＝いつまでも)ごきげんよう(＝元気でいてください)」と続けている。

5 清は「俺」のことが好きなので、いろいろ聞きたがる。そのことを「俺」はしつこく感じてめんどうになっている。

6 「俺」もつらいから泣きそうになったのである。

7 「俺」が清をどう思っているのかをおさえて書く。「俺」に対して清がどのように接しているのか考える。

自己採点 ››› 読後の感想を述べる問題

別解とポイント

①清の無償の愛はとても貴重なものなのに、その価値に気づかない「俺」は損をしていると思う。(43字)

②愛情は厳しさもあるべきなのに、清のように溺愛のみでは「俺」がうっとうしく思うのは当然だと思う。(47字)

③「俺」は清の愛情をめんどうに思いながらも、清を肉親のように思い、甘えた感情もあるのだなと思った。(48字)

★清の愛情に対する「俺」の受け止め方について、自分の意見や感想が書いてあれば正解。

自分が祖母からかわいがられたら、どんな思いになるのかと考えると書きやすい。

他には「俺」を自分の友人のように考えて、「俺」に意見を言うつもりで書いてみるのもよい。

採点基準

☆必要な語句 「清」「俺」(坊っちゃんでも可)…一語欠けるごとに3点減点。

☆字数 40字(指定字数の8割)に満たないものは5点減点。

「清の優しさ」などでもOK。

「	俺	」	が	、	清	の	愛	情	を										
め	ん	ど	う	に	思	い	な	が	ら										
も	、	清	を	大	事	に	し	て	い										
る	の	が	、	や	ん	ち	ゃ	な	青										
年	ら	し	く	お	も	し	ろ	い	。										

40字

SAMPLE